

## 12月議会本会議 討論内容

議案第136号ガーデンフィールズ跡地一部取得議案、そして議員提出議案第23号、職員給与削減の延長を求める議案について、下記のように討論を行いました。

市長は、市職員給与を聖域とせず、行財政改革に取り組むと2年連続で、宣言されました。発言が嘘にならないようお願いしたい。と、これまで当局に自助努力を促してきました。

当初、この12月議会で、3次送付で職員給与について議案が提出されると聞いて、ようやく他市に比べ高い職員給与を見直す改正案が提出されると思っていたら、人事院勧告に伴う給与体系の変更という議案であり、職員給与に対する抜本的な改革案では無く、また現在行われている給与削減措置の延長でも無かったこと、そして一般質問前のギリギリの3次送付という形でしたので、せめて、今年行われている約3.17億円という金額の削減は延長してもらいたいという願いの元で、議員提出議案は提出させて頂いています。

少し振り返ると、昨年、市長が2期目の市長選挙を当選され、再選を果たした直後の4/17の新聞記事での市長の言葉で、職員給与の適正化、見直しはしないといけない。市民、学識経験者により第三者機関をつくり、時間をかけず9月には結論を出したい。と職員給与に切り込む意気込みを話されました。

そして昨年5月の施政方針の中で、市長から、職員給与の改定について、聖域とせず、社会情勢に対応したものとなるよう第三者機関を設置し意見をいただくと、聖域という言葉も2年連続述べられ改めて決意を述べられました。

更に私の代表質問の中で、市長のリーダーシップという質問もさせて頂いて、給与の問題は第三者機関に任せず、市長が労使交渉の先頭に立ってやるべきでは？という私の問いに、市長は、懇話会で議論をしていただいて、それを受けとめて最終的に決めていくのは私です。と答弁されました。

その後、昨年8/24の新聞で、職員給与を平均3%削減する案を、昨年9月議会に提出するということが、報道されましたが、昨年9月議会にはその議案は提出されませんでした。

市は、組合交渉がうまくいかなかったため、提出できなかったと述べられ、昨年12月議会に提出できるよう努力するとされました。

そして、昨年の12月議会で、当初は国に抗議文まで出されて反対された、国からの給与減額措置の要請を受け入れ、本年1年間、給与の約3.17億円削減の議案が提出されました。

そして、今年の2月の代表質問で、今実施をしている地方交付税の減額に伴う給与削減措置について、これはあくまでも財源不足対策として実施をしているもので、新たな給与体系をつくる議論とは別の議論であることを確認させて頂きました。

そして答弁の中で、市職員の給与のあり方に関する懇話会については、給与の適正化という観点で市民から納得のいく給与制度になっているかどうかということについて、御意見をいただいたものだ、そして人事院勧告の中で、給与制度の総合的な見直しを行う、あるいは本市の給与削減措置、あるいは今後の財政状況も勘案しながら検討していきたいと答弁を受けました。

そして、この2月の代表質問でも、6月議会の一般質問でも、9月の一般質問でも、給与の削減案についてどうするのか問うて参りましたが、まだ決めていないという答弁を繰り返された後、結局結論を出されずじまいでした。

経常収支比率が、過去10年、毎年95%を超えているので、我が市は毎年、総務省の財政運営ヒアリング対象団体になっていますが、財政運営ヒアリングに書いてある市の自己評価は、毎年、人件費が高いので経常収支比率の改善が進まないと、理由を報告され、人件費の高さは当局も十分認識されていますし、

「平成25年度宝塚市一般会計予算」の反対討論で明らかにさせて頂いた「平成24年地方公務員給与実態調査結果」によると、指定都市20市を除く全国市区町村1722団体の中で、国家公務員と同じベースで算出した平均給与月額1位、昨年は渋谷区について2位だったこと、

また、この度作成された、公共施設マネジメント基本方針の中で、公共施設の維持更新費用は40年間で4525億円で、毎年113.2億の支出と試算され、維持更新費用の増大は十分認識されていること、

などから、今後の財政状況も考えると、抜本的な給与体系の変更を市長はされたいと思っはいらしたが、残念ながら結局出来なかった。

しかし、ようやく努力され作られた、現在行われている3.17億円の給与削減措置が、このままでは12/31をもって終わってしまいます。

結局、NTN跡地やガーデンフィールズ土地の取得が終わったら職員給与は値上げされ、土地をどんどん買い続ける割には、削減努力は見えない、また、本来住民サービスに回るべき予算が、職員給与に消えて行く、と考える市民は多いと思います。

これまで、NTN跡地に関しては、長年市役所の横の広大な土地が野ざらしで放置されているのは芳しくないとお申し上げしましたが、ガーデンフィールズに関しては、唐突な土地購入に私は見えませんでしたので、特に、大きな土地を購入するならば、まずは、職員給与削減などで財源をつくるという、身を切る努力をしてもらいたい、職員給与削減で身を切る努力をしてもらわないことには、大きな買い物をする事には賛成しかねると言い続けてきました。

せめて現在行われている給与削減措置を延長させることは、市は最低限当然やらなければならないことと思います。

以上、土地の取得が終わったら、給与削減はもう終わりという、市の姿勢に、議案第136号に反対、議員提出議案第23号に賛成します。

と意見を述べましたが、残念ながら賛同は得られず、ガーデンフィールズ跡地一部取得議案は原案通り可決、そして現在行われている職員給与削減の延長を求める議案については否決されました。